

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

すべての園児・児童・生徒に 15 年間の連続した「学び」を保証するために、地域の力を活用しながら学校園の教育活動を支援する。また、学校園を核とした地域コミュニティの活性化と、地域の教育力を高めるための協働により、地域に園児・児童・生徒が活躍できる場を作ることによって「自己有用感」の育成を図る。

今年度の取組紹介

地域合同行事として SAKURA 夢フェスタ 10th. を都南中学校で開催しました。ステージでは天理大学創作ダンス部の様々なダンスパフォーマンスがあり、みんなで楽しくおどりました。また SAKURA 夢スクール英会話教室の英語劇、中学校 3 年生生徒有志によるソーラン節、中学校吹奏楽部の演奏が行われ、午後からは地域の各団体・企業による模擬店があり、中学生有志による「カレー都南」も出店しました。最後にグラウンドでは地域対抗・部活対抗の大綱引き大会が行われました。地域の方々に多く来場していただき、前日の会場準備・当日の後片付けも中学生が中心となり、地域の方々と一緒に行いました。



また、SAKURA 夢フォーラム(夏期研修会)を南部公民館との共催で行い、NPO 法人きららの木 相談支援専門員 田崎智咲斗氏に講演していただきました。中学校に設置されたコミュニティルームの運営支援として、SAKURA 夢スクールを実施しました。英会話・編み物の 2 講座を開催し地域の多くの方々に中学校に来ていただきました。

地域事業所のイベントの模擬店に「カレー都南」で参加しました。カレーの仕込み、販売を中学校ボランティア部と一緒に行いました。



今年度のまとめ

今年度の取組の成果としては、SAKURA 夢フェスタでの「カレー都南」の仕込み、模擬店の運営、前日準備や後片付けを地域の方々や仲間と一緒に協力して行うことができ、良い交流の場となったと思います。また、地域の方々から良い感想をたくさんいただきました。

中学校ボランティア部と一緒に、地域事業所のイベントに参加することができました。SAKURA 夢フェスタ・SAKURA 夢スクールを通して中学校に来てくださる地域の方々が増えました。

来年度に向けて

地域で子どもを育てるといふねらいのもと、広くこの事業を知ってもらうために、地域へ向けて SAKURA ネットワークの活動をアピールする事と同時に、生徒・保護者にも SAKURA ネットワークをより一層知ってもらう機会を増やしていきたいです。

地域の各種団体の行事や、事業所へ中学校ボランティア部と一緒に参加できる機会を増やしていきたいです。

南部公民館と連携し、公民館で活動している自主グループやサークルの方々とも相互に紹介し合える機会をつくり、学校園・公民館・地域の距離を縮め、つなぐ存在になりたいと思います。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

自己有用感を育成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

今年度の取組紹介

「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに様々な活動を行いました。中でも地域教育協議会が主体となり、中学校を会場として、地域の各団体や小学校などの方々と一緒になり作り上げてきたSAKURA夢フェスタも節目の10回目を迎えました。

校区単位でのこのような取組は他に例がなく、誇れるものであり、生徒たちはこういった行事を通して地域の方々とふれあい、自分の学校・地域を思う心が育てられていると感じます。

また、健全な心の育成のため、生徒たちが地域に出向き、清掃を行う「クリーンキャンペーン」や地域と共催で行う体育大会などの取組も年間を通じて行いました。

図書館運営においては、継続的に地域ボランティアの方々によるご協力のおかげで読書推進活動が行われており、多くの生徒が図書室を利用し、本に触れ合う機会を持っています。



地域の方々による英語劇



図書室の様子

今年度のまとめ

「地域で子どもを育てる」のスローガンの下、地域の方々とともに行う様々な取組を通じて、生徒たちは、地域の方々との交流を持ち、その成果として自己有用感を感じることができ、自己形成において大きな成果があったと思います。

これらにおいてボランティアの方々を始め、多くの地域の方々が学校へ足を運んで下さり、「あいさつが良くなった」「手伝いもよく動いてくれる」などご意見を頂きました。

来年度に向けて

昨年度に引き続き、来年度も「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに掲げ、事業を推進していこうと考えています。地域の人にさらに学校へ足を運んでもらう取組を継続しながら、その中で地域の方々との触れ合いを通じて、生徒たちが「自己有用感」を感じ、さらには地域の一員としての認識の向上や規範意識の醸成につながればと考えています。

めざす子ども像

- みんなで力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

学校と地域が連携・協働して学習環境を整備することを通して、子どもが地域の
一員であることを自覚し地域に誇りをもって生きようとする姿勢を育む。

今年度の取組紹介

本校の地域の方々は「子どもは地域で育てる」ということを大切にされており、今年度も学校と地域と家庭が連携・協働して事業を進めてきました。

○「絵本のひろば」

11月1日（金）、5日（火）、6日（金）の3日間、「絵本のひろば」を図書室で開きました。会場づくりや最終日の片づけを手伝っていただいたり、いつでも絵本を読み聞かせができるように図書室に待機していただいたりするなど、多数の地域の方々に協力していただきました。数名に読み聞かせる方や1対1で読み聞かせる方など読み聞かせ方も様々で、子どもたちは自分の好きな場所で、「読みたい絵本・聞きたい絵本」を満喫することができました。



○「東市まるごと子どもフェスタ」

今年で18回目を迎えた「東市まるごとフェスタ」が10月6日（日）に開かれました。日曜参観の後、地域の方、TNP（東市日本一プロジェクト）、PTA、教職員が協働して模擬店や展示、様々な体験等を催しました。地域の方々と触れ合う機会を通して、子どもたちは自分たちの住む地域の
一員であることを実感しました。

今年度のまとめ

地域の方々の協力により地域と学校が連携・協働して様々な事業を実施することができました。今年度も「東市おはなしの国」や「菜の花プロジェクト」といったこれまでも取り組んできた活動に加え、これまでの活動をもとに新しく「まるごと探求合宿」を実施し、子どもの「学び」の力を高める活動に取り組みました。学校の環境整備など多数の事業を通して子どもの学習環境を整えることができました。

来年度に向けて

子ども一人ひとりが自立し能動的に生きる自信を育むことができるように、これまでの取り組みを大切にしつつ、新しい視点に立った事業を計画・実施していきたいと思います。また、より多くの地域ボランティアの方々に参加していただけるように、取り組みを発信することに力を入れたいと思います。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗を流して働くことのできる子ども

取組目標

活動の中で子どもたちが地域とのつながりも感じられるような地域と密に連携した環境整備、学習支援活動等の取組の充実

今年度の取組紹介

○環境整備事業

季節ごとに玄関や職員室前の廊下の飾り付けをしていただき、きれいな手作りの飾りに、みんな足を止めて見入っていました。また、年末には松の剪定もしていただきました。夏のペンキ塗りでは、地域、保護者、児童、職員が一丸となって廊下床面のペンキ塗りをしました。

○学習支援活動事業

生活科、社会科、家庭科、総合等で協力いただき、なかでも校区探検や昔の道具体験、むかしあそび体験では、民生児童委員、万年青年クラブからたくさんの参加があり、地域や昔の道具や遊びのことに詳しく児童に教えていただきました。また、家庭科では裁縫の実習の際にボランティアの方に補助をしていただき、ミシンの使い方等を優しく教えていただきました。



○読書力向上事業

絵本の読み聞かせボランティア「お話ドラゴン」のみなさんが毎週水曜日に朝の学習時間を使って絵本の読み聞かせをして下さりました。児童も楽しみにし、児童の読書力向上へつながってきています。



○児童の安全指導事業

毎日の登下校時に児童の見守りをしていただきました。また、1年生の給食が始まるまでは地域ごとに分かれ、一緒に下校していただきました。

今年度のまとめ

今年度も地域の方々に様々な面でご協力いただきました。ペンキ塗りや職員室前廊下の飾りつけははっきりと実感できる変化でしたし、登下校時の見守り活動や校区探検の補助、家庭科の実習補助、冬の集い等においては地域の方々と触れ合いながら活動したので、児童はたくさんの地域の方々に支えていただいているということを実感できたようでした。6年生児童は地域の方への感謝の気持ちを学習発表会等で伝えました。

今年度も2月末におそうじ☆ドラゴン(旧ありがとう集会)で通学路を中心とした校区の清掃活動を行うことにより地域の方々へ感謝の気持ちを伝えました。

来年度に向けて

活動ボランティアが高齢化し、ボランティアを卒業される方が増えてきているという現状があります。新たな人材を発掘し、現状並みの人数を確保できるよう地域に働きかけていく必要があります。また、多くのボランティアの方に力を発揮していただき、人材を有効に活用することができるよう運営委員会を中心に活動内容や連絡体制を見直していく必要もあります。そして、より活動の活性化を図れるようボランティアの皆さんの意見を聞き、取り入れていきたいと思ひます。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

- 確かな学力の育成をめざす（学力向上推進事業）
- 強い体の育成をめざす（体力向上推進事業）
- 花いっぱい为学校づくりをめざす（環境整備事業）

今年度の取組紹介

○ 確かな学力・豊かな心の育成をめざす取組

学力向上の目標を達成し、確かな学力に結び付けるため、地域から様々な協力を得ながら取組を進めてきました。国語の授業力を高めるための職員研修、郷土への愛着を深めるための学習、また高い人権感覚を養うための学習会など、様々に取組を進めてきました。地域消防団と連携した防災教育、社会福祉協議会の皆さんの協力による車いす・アイマス体験学習など、地域と共にある学校として子どもたちに豊かな心を育む取組を行いました。



○ お話の会や読み聞かせなどの取り組みから読書に親しむ子へ

朝のチャレンジタイムの読書タイムに加え、地域の方を講師に迎え、全児童対象の「お話の会」1年生対象の「本の読み聞かせ会」など定期的に年間を通して行ってきました。読書好きの子どもたちを育てるため、それらの機会を増やすとともに、その活動に使用する図書整備などに本事業を活用し、取り組みを進めていくことができました。



○ みんなで花いっぱいの学校づくり

地域の団体である万年青年クラブの方々の協力を中心に、教職員児童が主体的に環境整備に関わってプランター栽培に取り組み、年間を通して花いっぱいで、常に花の絶えない校内環境整備に取り組み続けてきました。

○ 体育や外遊びの充実から運動好きな子に

放課後子ども教室や地域の方々の運営のもと行ったミニ運動会など、地域の方々と共に楽しみながら健康・体力づくりに取り組みました。



今年度のまとめ

地域の方々と子どもたちが共に活動する機会をたくさん持つことで、子どもたちは地域の方々と親しみをもって触れ合い様々なことを学ぶことができた。子どもたちは地域の一員としての自覚と誇りをもち、自尊感情を高める取組につながった。今後も学校と地域が連携を図ることにより、子どもたちが自己肯定感を持てるような取組等を更に進めていきたいです。

来年度に向けて

地域との連携を更に深め、新たな取組の創設、人材発掘に努め、今後も「地域と共に歩む学校」をめざして取り組みを続けたいと考えています。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

豊かな感性をもち地域とともに主体的に生きる子どもの育成

今年度の取組紹介



帯解小学校では、地域の方をゲストティーチャーとして招き、地域の方と共に活動したり、学んだりする取組を栽培活動や体験・交流活動、聞き取り学習として組み込んでいます。特に5年生における栽培活動においては、地域の方からお借りした田で実際に粃まきから田植え、秋に稲刈りの体験をさせていただいています。身近なお米の栽培に関わり、地域の方とつながることで、地域の良さを知り、感謝の心が育まれています。また、年間を通して図書ボランティアの方に絵本の読み聞かせや本の修理などにお力添えをいただき、児童は読書への興味や物を大切にする心を育てています。3年生の体験・交流活動での干し柿作りは万年青年クラブの方をはじめ地域にお住まいの方の知恵をいただく貴重な機会となっています。こうした地域学校連携は、児童の豊かな感性の育成につながっています。

「30万人の市民を先生に」という奈良市教育振興基本計画の基本方針の実現の一步に、さらに地域の方と子どもたちがつながり、学びの輪が広がることを願って取組を進めています。

今年度のまとめ

地域の方とともに学ぶ聞き取り学習や体験・交流学習・栽培活動は、児童が地域の方と関わる中で知見を広げ、豊かな感性の育成につながりました。地域の方との活動は、学校評価において、児童・保護者共に96%以上の肯定的な回答を得ました。学校教育の様々な場面で地域の方に見守られ、支えられながら地域の歴史を知り、地域に愛着をもつ子どもたちの育成を目指しました。

来年度に向けて

精華・帯解両地区の良さを生かした取組を大切にしながら地域で学んだことを誇りに思う児童の育成と、豊かな感性をもち主体的に生きる子どもの育成を目指していきたいと考えています。また、取組の内容を多くの方に知っていただくためにさらに広報にも力を入れていきたいと考えます。

めざす子ども像

- ・みんなと力を合わせ、なかまと共に高まって行く子ども
- ・「学ぶ力」「生きる力」を見つけ、生活や将来に活かせる子ども
- ・感性豊かでたくましく自立する子ども
- ・地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- ・共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

- ・豊かな心をもち、いきいきと活動する幼児の育成

今年度の取組紹介

《子ども用防災頭巾作り》



毎月の避難訓練（火災・地震・不審者対応）の他に、毎年6月は地域の女性防災クラブ・消防分団・保護者の皆さんと、合同の避難訓練を行っています。1月は、地域の女性防災クラブの皆さんに園の避難訓練の様子を見てもらった後、防災避難時に必要なグッズを紹介してもらい間近で見せてもらいました。また、バスタオルを利用した手作りの「防災頭巾」を2年間、教えてもらい好評だったので今年は、「子ども用の防災頭巾」の作り方を教えてもらい、毎月の避難訓練に活用しています。いざという時に、子どもたちが使いやすいように考えて工夫してくださいました。子どもに合うミニバスタオルの中には、最低限必要とする下着・靴下・シャツ等が入っています。地域の女性防災クラブの皆さんが、丁寧に保護者に寄り添い指導していただいたので、短時間で作ることができました。園児達が出来上がった防災頭巾をかぶり、大喜びです。出来上がった防災頭巾は、普段は、椅子の背もたれにかぶせ、防災訓練のたびに活用しています。1月17日の地域の女性防災クラブとの合同避難訓練には、今年も新聞社から取材を受け、新聞にも掲載されました。

今年度のまとめ

毎年、熱心で温かい地域の方々との連携を大切にしながら、様々な生活体験を広げることができています。今年の活動事業の中で「明治地区女性防災クラブ」の皆さんとの活動は、今までの活動よりまた一步前進し、これからいつ何時起こるかもしれないあらゆる災害に対して、みんなで防災意識を高め、身の安全を守ることの大切さを学べたと思います。結果、自分たちのことを大切に思ってくれる人たちがいるということに気づくことができました。様々な活動を通して、地域の方から、たくさんの温かい気持ちをいただいたことが、園児達たちに伝わり、いきいきと活動する幼児の育成につながっていると思います。

来年度に向けて

これからも温かい地域の方々に見守られながら、事業活動を保育に取り入れ「ひと・もの・こと」とのつながりにおいて、一人一人が感謝の気持ちや自分を取り巻く地域・環境を大切に思う気持ちを育み、豊かな心へとつないでいきたいと思っています。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取 組 目 標

ひとりひとりの笑顔がかがやく辰市こども園

今年度の取組紹介

今年度より、保育園・幼稚園が一つとなり「辰市こども園」として、開園初年度を迎えました。それぞれの保育・教育の良さを大切にしながら、目の前にいる子どもたちに必要な力を身に付けられるよう努めてきました。今年度はゲストティーチャーを招き、5歳児が陶芸を体験しました。土粘土を前に子ども達は、「冷たくて気持ちいいな」「お母さんにプレゼントする茶碗作るねん」と心弾ませる姿がありました。ろくろを一人に一つ貸していただき、粘土を回しながら形を整えたり、粘土を滑らかにしたりしました。陶芸の先生から「うまく回せているよ」「いい模様がかけたね」と言葉をかけてもらい、子どもたちが笑顔で取り組む姿に繋がりました。

焼きあがった作品は、園内の作品展に展示しました。5歳児は地域の方に「これ僕が作ってん」と嬉しそうに自分の作品を見てもらい、地域の方から「うまいこと作ったね」と言葉をかけてもらい、とても満足していました。また、乳児クラスの保護者からも「5歳児になると、こんなことができるようになるのですね」と成長を楽しみにされる声を聞くことができました。また、見ていただいた方から感想を書いていただき、子どもたちにその声を返すことで満足感や更なる自信へと繋げられるようにしました。

**今年度のまとめ**

今年度は、園舎の移転に伴い来てくださる地域の方が減少したり、新しい園庭での環境整備事業など新たに取り組んだりすることが多く、難しいところが多々ありました。その中で地域の方の教育力を生かし、「おはなしの会」や「サッカー教室」など子どもたちの心と体を満たすような事業の取組みを続けることができたように思います。今後も地域に開かれたこども園となるように地域の方と共に歩んでいきたいと思っています。

来年度に向けて

今年度は開園初年度で、立案・実施とうまくいかないこともありました。次年度は子どもの姿、園の状況に合わせ事業の取組みに努めたいと思います。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

地域に開かれた幼保連携型こども園をめざして

今年度の取組紹介

○教育支援活動「地域の方と畑づくりをしサツマイモや野菜を育てよう」

5 歳児 35 名が、山町地域環境保全協議会の方に畑とサツマイモの苗・肥料などの用意をしていただき、5 月 29 日に地域の方と一緒に植えました。苗の植え方を教えて頂き、初めて苗を植える子どもたちを見守り、分からないところは声を掛けながら手助けしてくださいました。10 月 2 日、大きく育ったサツマイモを 4・5 歳児 65 名が地域の方のお世話になり、自分でサツマイモを掘ることができました。11 月には焼き芋パーティの準備もしていただき、焼き立てを味わう嬉しい体験となりました。

畑の先生として地域の方に来ていただき、4 歳児 30 名の子どもたちと畑づくりや種まき・間引き等を教えていただき、キュウリ・カボチャ・カブ・玉ねぎ・ブロッコリー・白菜などの野菜にふれる経験となりました。種や苗を植えて、水やりの世話をし生長を感じながら、収穫の喜びと食への感謝など豊かな心の育ちと共に貴重な経験となりました。

そして継続して行っている“花いっぱい運動”“生け花体験”などでは、子どもたちには地域の方とふれ合いながら教えていただき、親しみを感じ、感性豊かな経験を得ることができ、大きな学びにつながっています。



今年度のまとめ

- 畑での活動を通して、地域の方から生長や収穫の喜びなど様々なことを教えていただき、学び多い経験となりました。継続して行っている“花いっぱい運動”“やきいもパーティ”“生け花体験”“太鼓を楽しもう”など地域の方の協力なしでは経験できない体験を積み重ねていくことができ、地域の方に親しみをもつなど社会や人と関わる姿は、たくさんの学びや成長につながったと思います。
- こども園の教育・保育を地域の方々にご理解していただきながら、多くの協力を得て、事業や取組が進んだと思います。

来年度に向けて

- 子どもたちが夢中になって遊び込み、主体的な遊びを展開し、活動する中で子どもたちの学びにつながるように地域や保護者の方の協力を得ながら、園庭・遊び場などの環境整備や菜園・花壇づくりに努めていきたいと思っています。また、これらの事業や活動を保護者や地域の方と共に進めていき、こども園の教育・保育への理解を更に深められるようにしていきたいと思っています。

- めざす子ども像**
- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
 - 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
 - 感性豊かで、たくましく自立する子ども
 - 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
 - 共に汗して働くことのできる子ども

- 取組目標**
- ・地域との関わりを通し、お互い認め合い、助け合い思いやる心を育てる。
 - ・夢中になって遊び込める環境を提供していく。
 - ・地域の良さを生かした、豊かで多様な体験をしながら、生きる力の基礎を培う。

【今年度の取組紹介】

<和太鼓演奏>

地域の方に、バチの持ち方、良い音の出るたたき方など和太鼓演奏の指導をしていただきました。一人一人に熱心に教えていただき、体に響く太鼓の音を全身で感じ、友だちとリズムを合わせる心地よさを味わうことができました。また地域の昔からの伝統の行事に参加する事で、地域とのつながりが深めることが出来たように思います。5歳児は、運動会でのオープニングを飾り、沢山の方々にその成果を披露することができ、達成感や自信に繋がる事が出来ました。

<3B 体操教室>



地域の方を講師に招いて、ベルを使って全身を動かしたり、音楽に合わせて踊ったりしました。初めて使うベルに子ども達もとても喜んで元気に動いていました。地域の方と体を動かし交流する中で、コミュニケーション能力を高めながら心と体の豊かな感性を育てる機会となりました。

【今年度のまとめ】

こども園として開園して3年経ちましたが、地域の方々とのつながりも少しずつ深まり、ご支援やご協力を頂く機会が広がってきました。様々な活動を通して、子ども達は心と体を育んできたように思います。また地域の方との交流を通してコミュニケーション能力を育てることもつながってきたように思います。地域の方や保護者にもこども園の特色として浸透しつつあります。この活動が、子ども達の豊かな心を育むきっかけや素地となっていていっていることを感じます。

【来年度に向けて】

子ども達が今後も地域の方々との交流を深め、様々な経験を重ねていけたらと考えています。また地域の方には、活動を通して地域の中にあるこども園として協力や見守り、関わることを今後もお願いしたいと思っています。そして、『心身共に健康で人間性豊かなたくましく生きる幼児の育成』を目指していけたらと思います。